

金となる。日清戦争宣戦布告。

明治28年（1895）

理髪料金改正上昇9銭。日清戦争終結。京都市に日本最初の市内電車開通（現在明治村保存）、内国大博覧会京都開催、京都博物館竣工、平安神宮創建と時代祭始る。

明治29年（1896）

理髪営業取締規則通達に依る警察署管轄理髪組合結成（京都府令）（旧京都理髪組解散）次の7組合単一組織設置す。

上長者町組合、中立売組合、川端組合、松原組合、五条組合、堀川組合、七条組合。

京都一奈良間鉄道開通。民法公布、活動写真輸入される。

明治30年（1897）

理髪料金10銭となり値上り続く（これより10銭以下の料金はなくなる）京都帝国大学創立。

明治31年（1898）

10月、京都市役所開庁。初代市長 内貴基三郎（京都特別市政知事兼任を廃止）京都市人口35万を越える。

明治32年（1899）

11月、山陰宮津出身の上田留吉（京理組合創立委員元組合長）入京し大辻米吉（京理組合創立委員）店へ徒弟奉公す。京都鉄道山陰線が園部まで開通。

明治33年（1900）

上長者町組合第1回徒弟表彰、銀メダル授与（組合長取締 奥村留吉、徒弟 長原末吉は後に西陣部教育指導部長となる。現京都理美容学校主事 長原清の父）土地家屋整備法による「会所床」制度の全廃と個人経営理髪店へ転換、新理髪料金12銭、治安警察法公布。

明治35年（1902）

内山 岬（山陰宮津出身、京理組合創立委員、組合最高功労者、昭和7年7月歿、組合葬礼）11月頃入京す。（開業年度不明）日英同盟締結。

明治37年（1904）

理髪料金変動（戦争気運）15銭～12銭の不定額。日露戦争開戦、満洲軍総司令部設置。

明治38年（1905）

理髪料金13銭と上る。五条理髪組合の松吉種太郎指導部長と下鴨部々長の服部京太郎は出征して戦功により勲8等章を受ける。日露戦争終結ポーツマス条約調印。

明治40年（1907）

平馬魁亮（ひらま・かいりょ 私立帝国理髪学校々長 北海道出身で横浜、東京にて修

業勉強し大日本美髪会講師となり、京都業界指導のために入京。以来、平馬理髪学講習会と帝国理髪学校設立等、初期教育指導者となる。）が東京より入京す。義務教育6年制となる、京都市人口40万7千423人となる。

明治41年（1908）

各地区組合から大合同統一への気運たかまる。徒弟制度から教育制度へ移行。（地区講習会始る）

4月1日、京都市理髪業税発表（第2種営業市税）被徴税人員上京区633人、下京区647人、合計1,280人。税額上京区2,468円55銭、下京区3,983円15銭、合計6,451円70銭（第1回統計書）、理髪料金15銭。京都市人口増加441,264人。

明治42年（1909）

9月、京都市理髪組合準備会。種痘法公布、明治政治家斬髪第1号の伊藤博文内閣総理大臣（石井秀吉師調髪）がハルビンで鮮人に暗殺される。歿年66才。

明治43年（1910）

3月、京都市理髪組合創立委員の決定。地区代表28名。5月に第1回創立協議集会和規約草案作製。（於。上京区丸太町寺町西入長谷川与志雄支店）理髪料金17銭に上る。京阪電鉄京都五条～大阪天満橋開通、京都ガスKK創業。

明治44年（1911）

2月、京理組合創立委員第2回協議会と申請に要する最終審議（於 上京区中立売警察署前松垣代書事務所階上）5月頃組合々同創立認可申請を京都府庁へ提出。府庁側の審議進捗せず、組合創立委員では促進委員を挙げ常任委員4名を嘱託し認可促進を図る。11月、尾崎 保弁護士（京都市弁護士会々長 元地裁検事）を京理組合創立顧問に嘱託す。

12月18日、帝国衛生高等理髪学講習会発会式（平馬講師 長谷川、谷邑役員。於 京都基督教青年会館会場）理髪料金17銭。四条大橋鉄筋コンクリートになり市電開通、中央本線全通。「散髪壮士劇」の川上音次郎死す。48才。

明治45年（大正元年 1912）

京理組合創立基礎準備完了したるも、7月に明治天皇崩御により実行運動を自重す。

2月、帝国衛生理髪学研究会本部及び模範営業指導部設置。（下立売東堀川角田中栄太郎店）理髪料金20銭。明治天皇崩御、61才。京都市人口495,294人と増加し、明治末期から大正初期にかけて京都は急速に近代化す。

大正2年（1913）

理髪教育講習会各部に開く。平馬講習会最盛期。